


(第1号様式)

## 教育情報に関する連絡表

【 教育情報提供者記入欄 】		情報提供年月日	平成29年 11月 1日	
情報提供者等	(フリガナ) 氏 名		性 別	<input checked="" type="checkbox"/> ① 男性 <input type="checkbox"/> ② 女性
	住 所	岐阜県 本巣 <input type="checkbox"/> 市・町・村 (郡名は記入しない。)		
	年 齢	<input type="checkbox"/> ① 20歳代 <input type="checkbox"/> ② 30歳代 <input type="checkbox"/> ③ 40歳代 <input type="checkbox"/> ④ 50歳代 <input checked="" type="checkbox"/> ⑤ 60歳代		
	情報の種類	<input type="checkbox"/> ① 意見 <input type="checkbox"/> ② 要望 <input checked="" type="checkbox"/> ③ 情報提供 <input type="checkbox"/> ④ 質問		
	回答の希望	<input type="checkbox"/> ① 教育委員会の回答を希望 <input checked="" type="checkbox"/> ② 教育情報のみで回答は不要		
情報のテーマ	(1テーマにつき、1枚の連絡表をご使用ください。 「真桑文楽」を通して育むふるさとの誇り			
<p>真桑小学校の「まくわっ交流会」を参観してきました。真桑小学校では、伝統である「五つの灯」(あいさつ、うたごえ、そうじ、いのち、なかよし)のうちの「うたごえの灯」「なかよしの灯」を明るくしようと、学年合唱などを発表、鑑賞しあう「まくわっ交流会」を毎年行っています。</p> <p>今年度は「まくわっこ一人一人が うたごえの灯を明るくするために 美しい歌声を響かせ 仲間と心をつにして歌おう！」をスローガンに、1年生から5年生までは、音楽の授業で学習した歌を中心に紹介し合っていました。6年生は、総合的な学習の時間で取り組んできた、300年の伝統をもつ「真桑文楽」(傾城阿波の鳴門～順礼歌の段)と地域の民話をもとにした「ミュージカル」(権ねさとキツネ物語)を上演していました。どの学年も日頃の学習の成果を存分に発揮したすばらしい発表でした。参観された多くの地域や家族の皆さんからも大きな拍手が送られていました。</p> <p>中でも6年生の「真桑文楽」グループの上演は、浄瑠璃、三味線、舞台作りなどすべて6年生が行っていました。どの子も「真桑文楽」という伝統文化やその歴史の重みを意識しながら誇りを持って活動しているように見えました。</p> <p>真桑小学校の「真桑文楽」の上演はもう三十年以上の歴史になります。(県下の小学校の中でもこうした取り組みがなされている学校は少ないと思います。)学校にとってはご苦労も多々あるかと思いますが、今後もふるさと教育を充実させて、ふるさとを大切に思い、ふるさとに貢献できる子どもたちを育てていただけるとありがたいと思いました。</p>				
				
H29. 10. 28 真桑文楽上演の様子				